

やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」(青森)発行

誌 名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	26 / 2009 / 41-42
タイトル	青高キャンパス桜2題
著 者 名	室谷洋司

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

■□ 青高キャンパス桜2題 □■

本誌前号に「目で見える青高キャンパス周辺の環境変遷」をまとめたが、その中ではキャンパスのサクラにこだわり、資料写真を掲げながら検証を加えた。ここではその後、入手した資料やサクラ植樹についての2件を記録しておく。のちになって何らかの参考になれば、との思いからである。

旧プール北側のサクラ

上記の小文「…環境変遷」では、旧プール北側のサクラは現在のキャンパスにある最も古い老木群ではないかとしたが、その昭和30(1955)年頃の地上からの写真を見つけた。「生徒会誌」のバックナンバーをあさって、昭和30年度版の表紙(写真1)に目がとまった。写真部分を切り取って画像調整をしたら往時の面影が明瞭に浮かび上がってきた(写真2)。左端がケヤキで右方向にくだんのサクラが並んでいる。

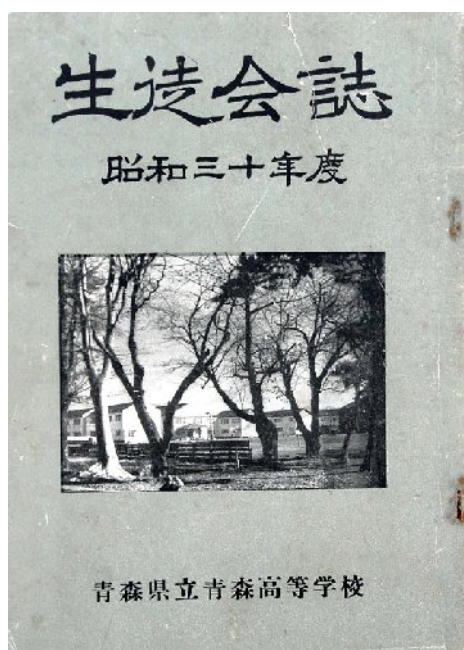
これから半世紀以上も経った現在の風景を写真3として掲げた。この中で左側の建物が旧青森県教育センターで屋上のドームが、この辺を示すランドマークとして長年、親しまれてきた。この建物は、やがて西側道路拡張のために解体されるという。

8回生のサクラ記念植樹

私は「やぶなべ10代」であるが、卒業年次としては統合青高8回生である。昨年(2008年)卒業50周年を迎え、それを記念して校舎正面前の緑地にサクラを植えた(写真4)。ここには3代目の三四郎池もある。合わせて同年はサクラ15本が青高東京同窓会、他の記念植樹として東側の筒井中学校との境界線に植えられた。

いずれも今年の春には花を咲かせた(写真5、6)。写真5の8回生記念サクラの右側にある樹は昭和30年代に植樹されたもので、前号に掲載した写真18(青高キャンパス、13頁)の校門から校舎正門に通ずる通路に支柱を添えられたサクラの今の姿。青高キャンパスでは、この時のサクラが現在もっとも栄華を誇っている樹木群である。

(10代 室谷 洋司)



[写真1] 「生徒会誌」(昭和30年度)の表紙



[写真2] 表紙写真に写された現青高キャンパスのサクラ群



[写真3] 写真2から54年後の現在の姿。左側の建物は旧青森県教育センター(2009年4月24日)



[写真4] 青高8回生卒業50年記念植樹(2008年9月14日)



[写真5] 8回生記念サクラが開花(2009年4月24日)。右側は昭和30年代に植えられたサクラ



[写真6] 8回生記念サクラの開花アップ(2009年4月24日)